目標:販売額の増加 整備内容:暗渠排水(1式)、低コスト耐候性ハウス(8か所)、出荷施設(1式)、選別・選果用施設(1式)

### 【工夫のポイント】

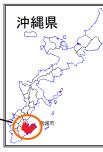
- 〇 農地中間管理機構を活用して、遊 休農地に低コスト耐候性ハウスを建設 。収益性の高い作物(イチゴ・ハーブ) の導入を促進。
- 販売体制強化や高付加価値化を図 るため、集出荷施設や貯蔵性を高める 設備を整備し、農作物のブランド化を 推進

### 【取組地域の概要】

○位置

(なんじょうし) 沖縄県南城市(沖縄振興)

佐敷地区



- 〇主要作物
- オクラ、マンゴー、インゲン等
- 〇主な支援施策
- ·新規就農一環支援事業(県単)(H25)
- ·多面的機能支払交付金(H26~)

# 生産基盤の整備

〇 暗渠排水の整備により、農地の 排水性が向上し、湛水被害を防止



【湛水被害の状況】

### 収益性の高い作物の導入促進

農地中間管理機構を利用し、遊休農地を集約して低

コスト耐候性ハウスを整備

〇 低コスト耐候性ハウスの導入に より、気象条件や病害虫の被害減 少による高収益作物の栽培環境 を安定化(通年栽培)



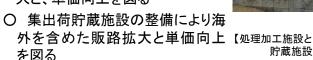
【低コスト耐候性ハウス】

○ 育苗ハウスの整備により、沖縄に適したイチゴを生産 し、ブランド化を推進



### 集出荷貯蔵施設の整備

農産物等処理加工施設の整備 により県外出荷の販路を活用し、 生産量の増加に対応した取引拡 大と、単価向上を図る





貯蔵施設(予冷庫)]

## 多様な担い手の育成・確保および技術の継承

○ 地域農業者との交流や各種研修 等による新規就農者や認定農業者、 法人化の推進および栽培技術の継 承を推進



### 低コスト耐候性ハウスの導入により通 年栽培が可能となり販売額を増加

○ 低コスト耐候性ハウスの整備により、生 産コストが低減するとともに品質が安定







【「美ら(ちゅら)イチゴ」としてブランド化】





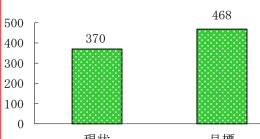


【高収益作物のハーブの導入】

集出荷貯蔵施設等の整備による、品質 の向上等により、販路の開拓(海外輸出) や生産物のブランド化が促進され、販売 額が向上

(百万円)

販売額



現状 (平成27年度)

目標 (平成31年度)